

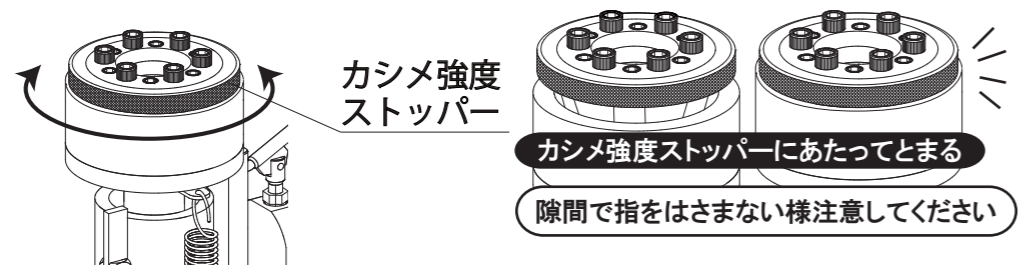


# 取扱説明書

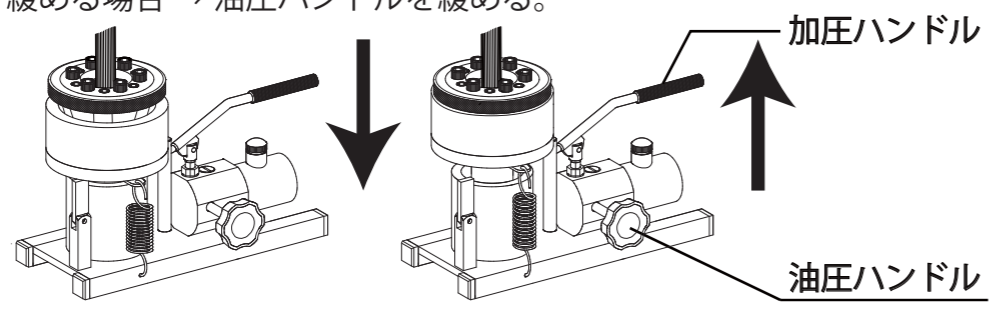
## 型式 KH6DX

# ハンドカシメラー

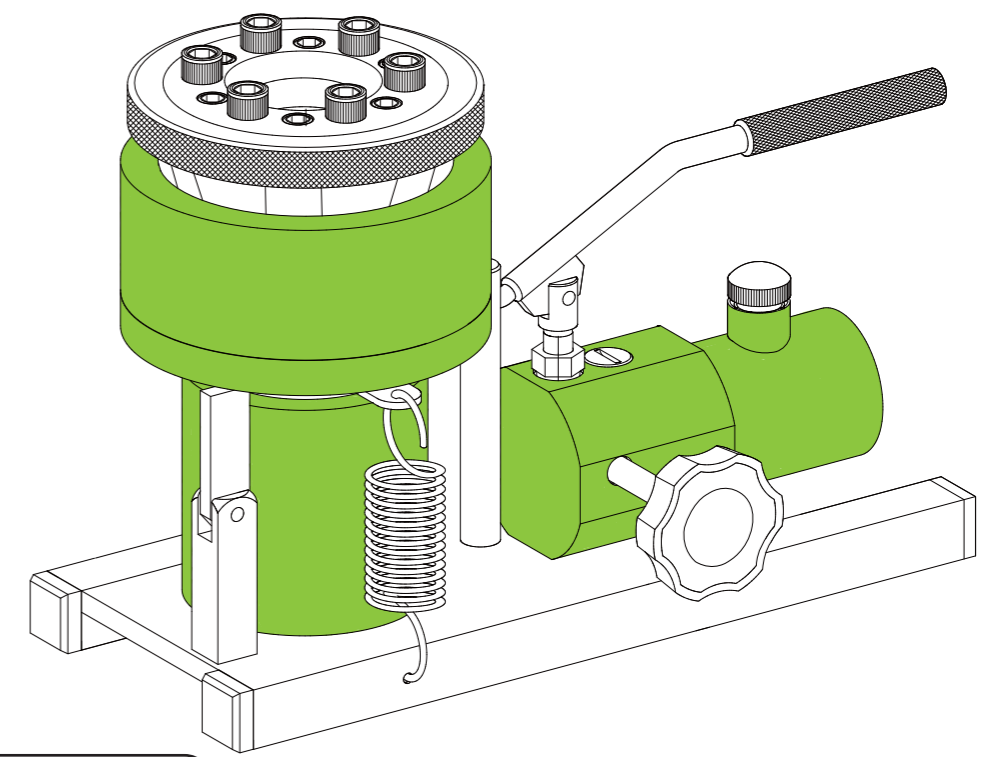
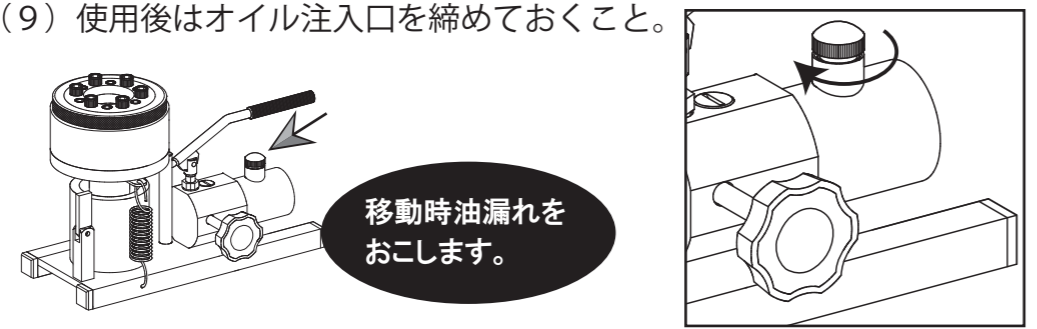
(6) 締め付けの強さは、カシメ強度ストッパーを調節する。



(7) ホースをカシメる。→ホースを垂直に入れた後 加圧ハンドルを操作する。  
 (8) 緩める場合 → 油圧ハンドルを緩める。

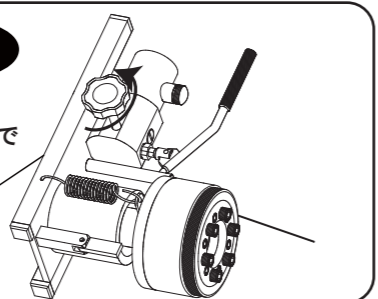


(9) 使用後はオイル注入口を締めておくこと。



もしシリンダーの中に空気が入ったら...

スライドリングが上がったままの状態  
 スライドリングを下に本体を立て  
 油圧ハンドルを開く。

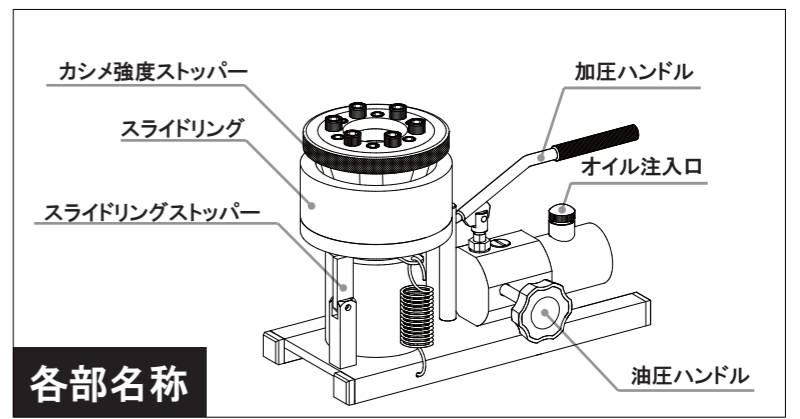
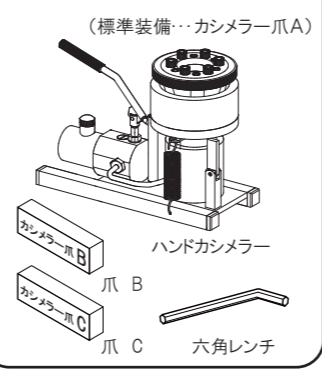


製品名	ハンドカシメラー KH-6DX		
コードNo.	2504100	重量	21.2kg
全長	390mm × 240mm × 200mm		

製造元：株式会社永田製作所

記載内容の性能・仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。 pl.25041.201803

同梱品をご確認ください。



各部名称



# 安全に正しくお使いいただくために

この度はハンドカシメラーKH-6DXをお買い上げいただきありがとうございます  
安全で快適なカシメ作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
<b>注意</b>	人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれのある内容を示しています。

## 注意

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には保管しないでください。
- 分解、改造をしないでください。
- 爪はカシメラーフタに内蔵されている鋼球まできちんと入れてください。(そのままスライドリングを上げると故障の原因となります。)
- 安定した場所で作業を行ってください。
- ホースをカシメる以外に使用しないでください。

## 警告

- 本体に水や飲料水などで濡らさないでください。
- 油は指定油を入れてください。(Mobil DTE #24、#26 または、タービン油)
- 油は規定量入れてください。
- ホースを傷つけると事故の原因になるためカシメすぎには注意してください。

**おかしい?と思ったら・・・**

**オイル注入口**

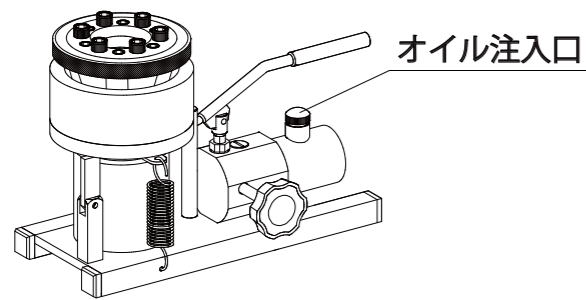
- 油が少なくないか確かめてください。油はスライドリングを下げた状態でねじ部(点線)まで入れてください。

**吸排弁**

- 吸排弁にゴミがつまっていないか または Oリングが傷んでないか調べてください。

## 取扱説明書

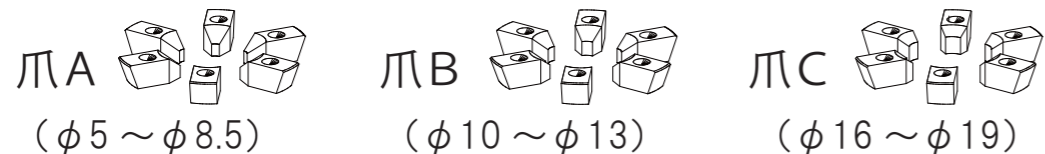
(1) ハンドカシメラーを水平にしてオイル注入口を緩める。



緩めても油は出ません。

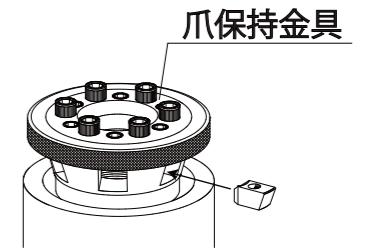
もし緩めなかったら・・・  
エアが噛んでスライドリングが作動しない場合がある。

(2) 爪をホースサイズにあわせる。

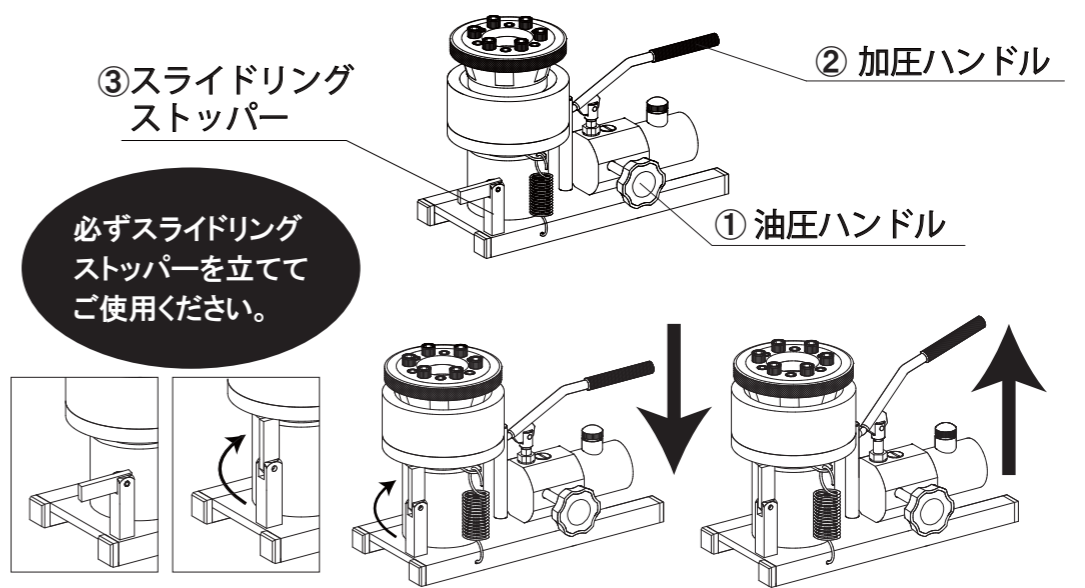


(3) スライドリングストッパーを解除し(下図③) 油圧ハンドルを緩め(下図①) スライドリングを下までおろした後、爪をカシメラー爪保持金具に入れる。(ゴミをきれいに拭き取ってグリスを塗布すること)

爪を「カチッ」と音がするまで入れないと故障の原因となります。



(4) 爪を装着後、油圧ハンドルを閉じ 加圧ハンドルを操作しスライドリングストッパーを立てる。



(5) ホース締め付け位置は、カシメ位置決め金具を六角レンチで調節する。

